

グッド・トイ2026 応募要項



GOOD TOY

グッド・トイ 2026 応募要項

下記は概要になります。詳細については、公式 Web サイトにてご確認ください。

公式サイトはこちら



1. 主催および後援

主催：特定非営利活動法人 芸術と遊び創造協会／東京おもちゃ美術館
後援：林野庁、高齢者アクティビティ開発センター、株式会社アプティ

2. 応募資格

応募おもちゃの製造者（メーカー・作家） および 日本国内輸入元（日本支店・輸入代理店など）。

3. 応募対象

下記4点を満たすもの。

(1) 購入可能なおもちゃ。下記①②を満たすもの。

①2026年5月8日時点で既に国内にて流通している。②2026年11月以降も継続販売予定である。

(2) 第三者の知的財産権を侵害していないおもちゃ。

消費者の選択肢を増やす事に繋がるという見解から、明らかなコピー品に関しては選考外とし類似品に関しては、その独自性を評価し選考を行うものとする。

(3) 以下のものは、選考対象外とします。ただし、特筆すべき点がある場合は選考対象とする場合もあります。

・カードゲーム、ボードゲーム

明確なルールが定められており、その範囲内でしか遊べないおもちゃ。（勝敗を競うものなどが該当）

※応募予定の製品についてのご相談は下記までご連絡ください。

※ゲームは、次年度以降に向けて独自の選考内容を検討しています。

- ・既に広く普及しているベーシックな伝承玩具や郷土玩具（メンコ、お手玉、囲碁、将棋など）
- ・素材の要素が強いもの（折り紙、粘土など）、作ることが目的のもの（「キット」や「パーツ」）
- ・遊具、楽器、工芸品（飾る要素の強いもの）

(4) 当法人の監修などを受けていないもの。

4. 費用および提供物など

(1) 応募・選考時

①応募料 : 1点 20,000円（税抜） ②選考用サンプル：1点（選考外の場合、着払い返却も可。）

(2) 受賞後

①選定料・掲載料：30,000円（税抜）

②展示用おもちゃ：2点

東京おもちゃ美術館および全国巡回展等、体験・紹介の場で使用いたします。

その他、全国のおもちゃ美術館への展示されるおもちゃは、当協会にて購入を予定しています。

5. 応募と発表

応募方法：GOOD TOY 公式 web サイトに詳細を記載しております。

応募用紙や必要事項などをご確認の上、申込フォームにてお申込みください。お申込み後、自動返信メールにて応募料の支払いについてご案内をいたします。応募締切日までに入金をお願いいたします。

応募締切：2026年5月8日

発表 : ①受賞作品発表 2026年10月1日

②各賞発表「グッド・トイフォーラム(会場：東京おもちゃ美術館)」 2026年10月25日 予定



受賞のメリット

多彩な体験の場を創出

1 全国のおもちゃ美術館で1年間展示・体験

年間70万人以上が訪れる全国16のおもちゃ美術館。全館にグッド・Toy専用の空間があります。受賞おもちゃを手にとって遊ぶことができ、スタッフがその魅力を伝えています。おもちゃ選びの参考に役立てていただいているこの空間で1年間紹介し続けます。
※体験・展示・紹介など各館で紹介方法は異なります。

2 全国50ヶ所の移動おもちゃ美術館で紹介

全国50か所、総入場者数14万人を超える「移動おもちゃ美術館」(キャラバン)の会場ではグッド・Toyを紹介します。

3 イベントや子育てサロンなどで紹介

全国にある当協会支部主催のグッド・Toyの体験イベント「グッド・ToyCafé」や「おもちゃコンサルタント」が全国200カ所で開くミニ子育てサロン「おもちゃの広場」、小児病棟での遊びの広場などでグッド・Toyを広めていきます。

4 公式WebサイトやSNSなどへの掲載

受賞玩具の魅力伝える公式Webサイト内のギャラリーページや、東京おもちゃ美術館Instagram、会員向けメールマガジンなどの当協会の広報媒体への掲載、及びフリーマガジン「グッド・Toyガイド」に、おもちゃコンサルタントの推薦文つきで紹介します。

5 マークを無償提供

「グッド・Toy」マークをパッケージやカタログ、Webサイトなどに使用することができます。

6 ミュージアムショップでの販売

東京おもちゃ美術館等のミュージアムショップ(運営:株式会社アプティ)で販売される他、アプティオンラインストアでも販売されます。



祝賀会を開催

グッド・Toy2026のお披露目イベントとして、全国のおもちゃコンサルタントやメーカーなどが一堂に集います。



おもちゃ・遊び文化の発展を目指して

美しいものをこよなく愛し、
美しいものをじぶんの力でつくりあげる
その喜びがわかる子どもたち。

みにくいものをこばみ、
みにくいものを美しいものにかえていく
その心と力をもった子どもたち。

自分たちのまわりをより美しく、より正しく、
より深く見つめる心と力をもった子どもたちに育ててほしい。

これは、私の父であり、おもちゃ美術館創設者である多田信作が50年前に書いた詩。

おもちゃを通して彼が実現しようとした世界観です。

おもちゃにそんな力があるのでしょうか。私は心に一点の曇りもなく「ある」と信じます。

おもちゃは、子どもたちにとって、単なる「もの」ではありません。

心や身体を育むのに必要な「栄養素」を与えることが可能な大切な道具です。

このようなおもちゃを選ぶ助けとなるよう、芸術と遊び創造協会では、おもちゃコンサルタントが投票により、毎年「グッド・トイ」を選定しています。

おもちゃコンサルタントは、1988年にその養成講座が開講され、資格取得者は全国で約6000名おり、おもちゃの製作や販売、教育や子育て支援の場、小児病棟や高齢者福祉施設などでの社会貢献活動など、多方面におもちゃのコンサルティングを展開する専門家です。そして、グッド・トイの広め手でもあります。

2026年度の GOOD TOY AWARD を通して、

心の栄養となるおもちゃに出会えることを楽しみにしています。

特定非営利活動法人
芸術と遊び創造協会 理事長
東京おもちゃ美術館 館長

多田 千尋